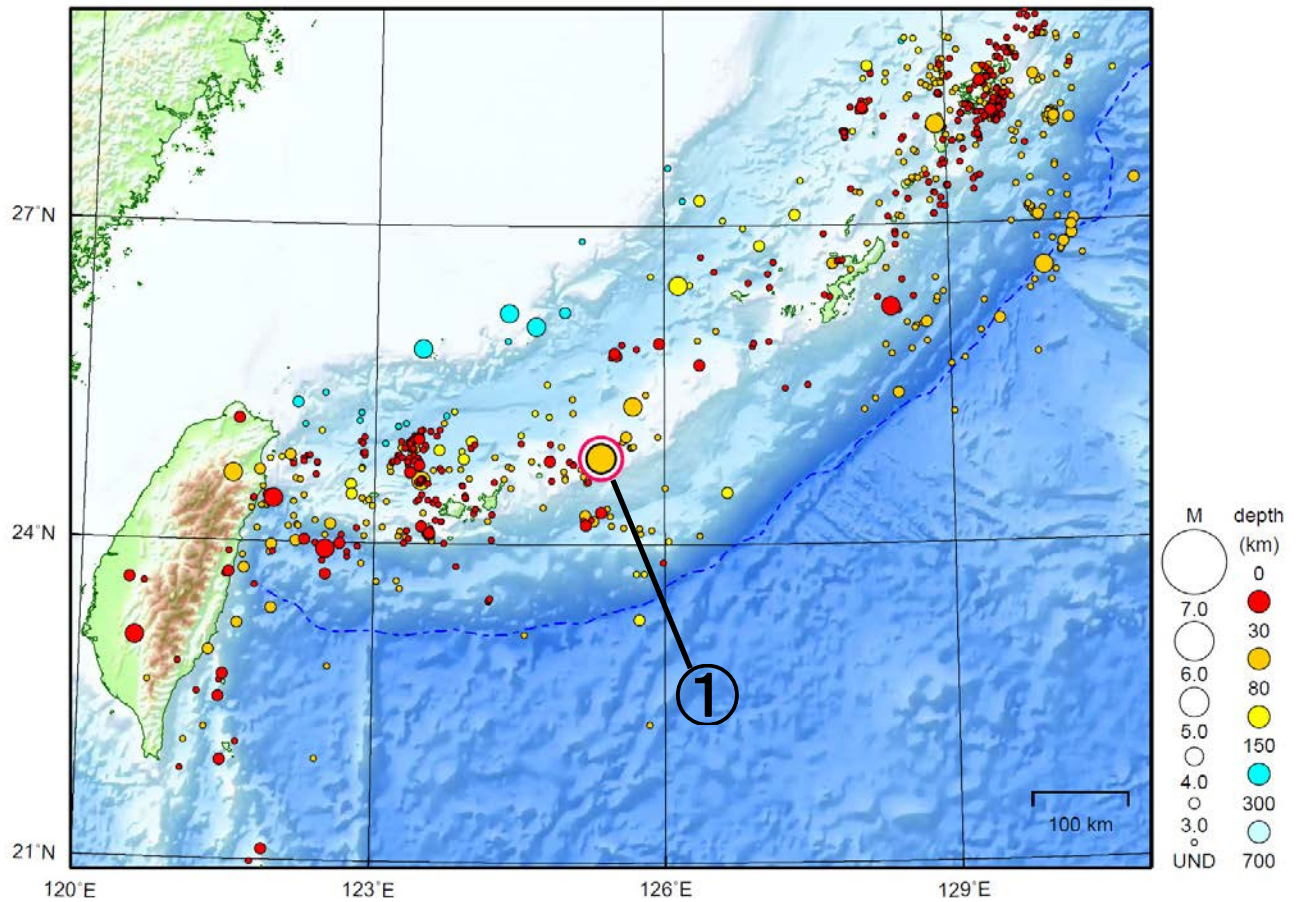


沖縄地方

2014/02/01 00:00 ~ 2014/02/28 24:00

N=932



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

- ① 2月6日に宮古島近海で M5.0 の地震（最大震度 3）が発生した。

（上記期間外）

3月3日に沖縄本島北西沖で M6.4 の地震（最大震度 4）が発生した。

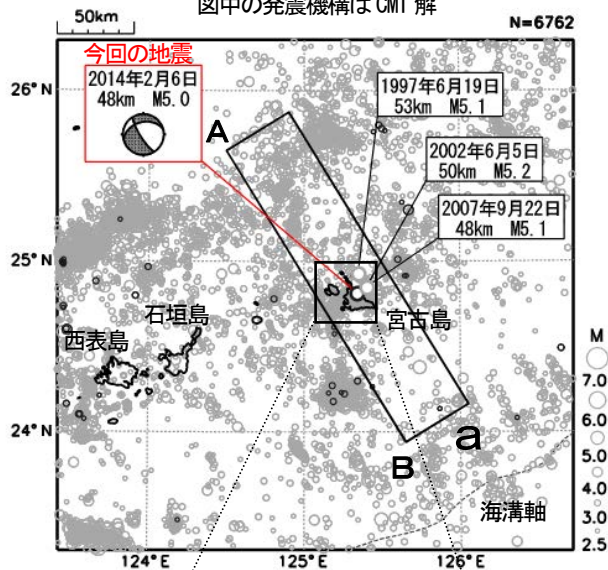
3月3日に沖縄本島近海で M5.0 の地震（最大震度 3）が発生した。

〔上述の地震は M6.0 以上または最大震度 4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度 3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度 3 以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。〕

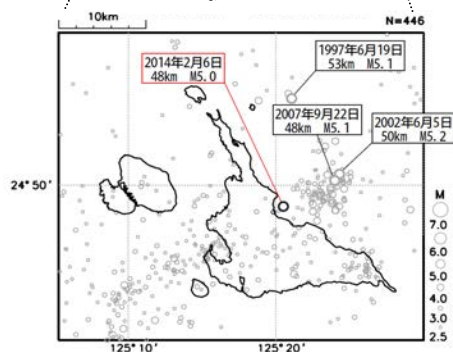
2月6日 宮古島近海の地震

震央分布図

(1997年1月1日～2014年2月28日、
深さ0～150km、 $M \geq 2.5$)
2014年2月の地震を濃く表示
図中の発震機構はCMT解

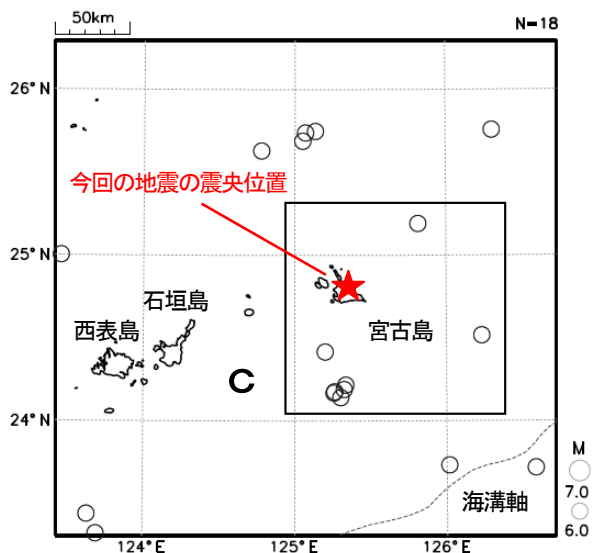


拡大図



震央分布図

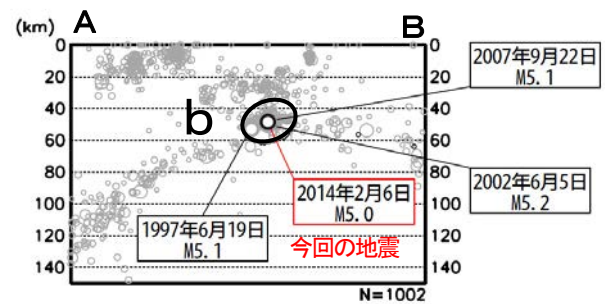
(1960年1月1日～2014年2月28日、
深さ0～150km、 $M \geq 6.0$)



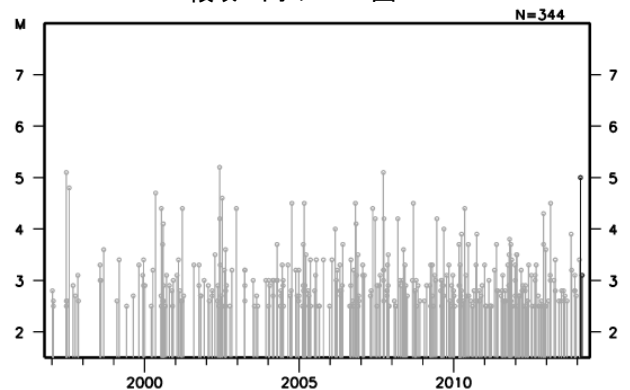
2014年2月6日20時32分に宮古島近海（宮古島付近）の深さ48kmで $M 5.0$ の地震（最大震度3）が発生した。この地震の発震機構（CMT解）は東西方向に圧力軸を持つ型である。

1997年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近（領域b）では、1997年6月19日に $M 5.1$ （最大震度4）、2002年6月5日に $M 5.2$ （最大震度3）、2007年9月22日に $M 5.1$ （最大震度3）と、 $M 5.0$ 以上の地震が3回発生している。

領域a内の断面図（A-B投影）

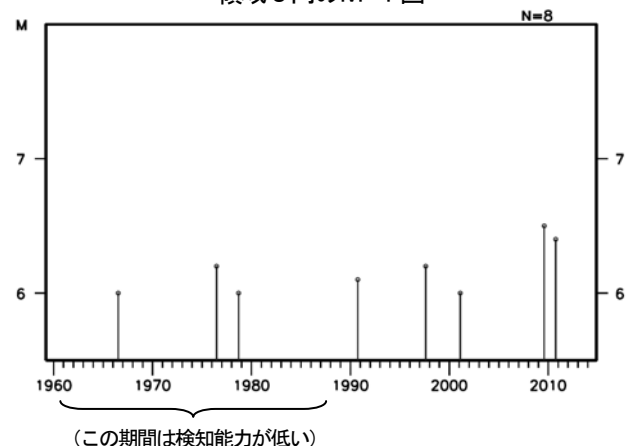


領域b内のM-T図



1960年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、 $M 6.0$ 以上の地震が時々発生している。

領域c内のM-T図



（この期間は検知能力が低い）